



平成 29 年 1 月 12 日

各 位

上場会社名 さくらインターネット株式会社
代表者 代表取締役社長 田中 邦裕
(コード番号 3778)
問合せ先責任者 取締役 川田 正貴
(TEL 06-6265-4830)

「超先端材料超高速開発基盤技術プロジェクト」向け
スーパーコンピューターシステム受注に関するお知らせ

当社は、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、「産総研」という。）と「超先端材料超高速開発基盤技術プロジェクト」を共同研究する先端素材高速開発技術研究組合（以下、「Hi-Mat」という。）より、当社の高火力コンピューティングを基盤とするスーパーコンピューターシステムを受注いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件受注について

本件の超先端材料超高速開発基盤技術プロジェクトは、材料開発と計算科学の融合・連携によって革新的機能性材料の創成・開発の加速化実現を目的としております。

当社の高火力コンピューティング基盤が、本プロジェクトのために産総研と Hi-Mat で共同運営するスーパーコンピューターシステムに採用されました。提供規模は、サーバー台数 1,024 ノード（台）、合計 32,768 コア、総理論演算性能としては約 1.153 ペタフロップスとなります。

本件に関する内容につきましては、添付資料をご参照ください。

なお、本件に関する資金は、みずほ銀行からの借入による調達を予定しております。

2. 契約金額

約 2,100 百万円（5 年間総額）

3. 提供開始予定時期

平成 29 年 4 月 1 日

4. 今後の見通し

本件が当社の平成 29 年 3 月期連結業績に与える影響は軽微であります。来期以降の当社連結業績に与える影響につきましては、来期業績予想公表時に織り込んで公表いたします。

以上

報道関係各位

2017年1月12日
さくらインターネット株式会社

**さくらインターネットの高火力コンピューティング基盤が、
産総研とHi-Matで共同運営するスーパーコンピューターシステムに採用**

インターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕）の高火力コンピューティング基盤が、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、「産総研」）と先端素材高速開発技術研究組合（以下、「Hi-Mat」）で共同運営するスーパーコンピューターシステムに採用されました。提供規模は、1,024 ノード（サーバー台数）、合計 32,768 コア、総理論演算性能としては約 1.153 ペタフロップス（Pflops）^{※1}です。

スーパーコンピューターの領域において、サービス利用によるコンピューターリソース調達の機運は高まってきています。従来は、利用者が自前の資産として必要な機材を調達し構築、運用を行うことが主流でしたが、電力消費量および資産管理コストの増加を回避するために、コンピューターリソースをサービスとして利用したいニーズが増えています。本案件では、当社の演算に特化したサービスである高火力コンピューティング基盤を基にした、クラウド型の利用方法が採用されました。本案件がこれからのスーパーコンピューター領域における調達方法に与える影響は非常に大きいと考えます。

なお、高火力コンピューティング基盤は当社の石狩データセンターを通じて提供しています。データセンターのエネルギー効率を表す指標である PUE^{※2}が、都市型データセンターでは一般的に 1.5～2.0 であるのに対して、石狩データセンターでは、通常外気冷房のみで 1.11、夏季に従来型の空調運転をおこなった場合でも 1.21 を実現しており、消費電力を大幅に抑え、CO2 を削減することができます。

当社は今後も、さまざまな規模のニーズにお応えするインターネットインフラサービスの提供を目指してまいります。

<本案件の詳細について>

契約先 : Hi-Mat
受注金額 : 2,099,940,000 円^{※3}
提供期間 : 2017年4月1日から5年間
提供規模 : 計算用サーバー 1,024 ノード
 合計 32,768 コア
 総理論演算性能 約 1.153 ペタフロップス
利用データセンター : 石狩データセンター

<Hi-Mat について>

Hi-Mat は、材料系の民間企業 16 社が結成した技術研究組合です。国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業である「超先端材料超高速開発基盤技術プロジェクト」において、産総研と共同研究しています。

<参考情報>

・計算・プロセス・計測による三位一体の研究開発体制の構築により「経験と勘」に頼らない機能性新材料の研究を加速 – 民間企業 16 社が結成した先端素材高速開発技術研究組合 (Hi-Mat) と産総研が共同研究をスタート – (産総研ニュースリリース)

http://www.aist.go.jp/aist_j/news/pr20160909.html

※1 ペタフロップス (PFLOPS) : コンピュータの処理能力の単位で、Peta Floating-point Operations Per Second の略。Peta は 1000 兆 (10 の 15 乗) であり、毎秒 1000 兆回の浮動小数点演算ができることを表します。

※2 PUE (Power Usage Effectiveness) とは、データセンターのエネルギー効率をあらわす指標の 1 つ。値が 1.0 に近づくほど効率がよく、一般的に、値が 2.0 を切ると効率が良いとされています。

※3 計算用サーバー以外のその他機器等を含めた金額です。

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■ さくらインターネット株式会社について

本社：大阪府大阪市中央区南本町 1 丁目 8 番 14 号

設立：1999 年 8 月 17 日 (サービス開始：1996 年 12 月 23 日)

従業員：381 名

資本金：8 億 9,530 万円

売上高：120 億 8,600 万円 (平成 28 年 3 月期)

事業内容：自社運営のデータセンターでインターネットインフラサービスを提供

URL : <https://www.sakura.ad.jp/>

■ この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当

TEL : 03-5332-7072 E-mail : press-ml@sakura.ad.jp

■ この件に関する株主・投資家からのお問い合わせ先

<https://www.sakura.ad.jp/ir/contact/>